

新型コロナウイルスワクチン接種について①

2021.12.15
保) ワクチン接種担当部

資料 2

初回接種（1, 2回目接種）について

- 接種対象者の2回目接種率は**83.0%（全市民の75.8%）に到達**
- 引き続き、臨時接種期間の終期である**令和4年9月30日（※）**まで希望する方へ初回接種を実施

※令和3年11月16日付で厚生労働大臣指示が改正され、臨時接種期間が延長された（令和3年12月1日施行）。
改正前：令和4年2月28日まで → 改正後：令和4年9月30日まで

R3.12.13時点

	人口 (1/1現在)	1回目		2回目		総接種回数
			接種率		接種率	
高齢者（65歳以上）	542,066人	508,055	93.7%	505,088	93.2%	1,013,143
60～64歳	121,750人	109,532	90.0%	108,598	89.2%	218,130
50～59歳	270,855人	239,254	88.3%	236,338	87.3%	475,592
40～49歳	297,230人	242,314	81.5%	238,080	80.1%	480,394
30～39歳	233,293人	179,117	76.8%	174,198	74.7%	353,315
20～29歳	198,469人	148,912	75.0%	143,373	72.2%	292,285
12～19歳	127,063人	88,267	69.5%	81,287	64.0%	169,554
接種対象者合計 (12歳以上市民)	1,790,726人	1,515,451	84.6%	1,486,962	83.0%	3,002,413
11歳以下	170,849人	-	-	-	-	
全市民	1,961,575人	1,515,451	77.3%	1,486,962	75.8%	

新型コロナウイルスワクチン接種について②

2021.12.15
保) ワクチン接種担当部

追加接種（3回目接種）について

- 令和3年11月16日付厚労省通知（事務連絡）及び第9回自治体説明会により、追加接種について新たな内容が示された。
- 札幌市においてもこれに沿って追加接種を実施していく。

■ 新たに示された主な内容

- ①接種期間：令和3年12月1日から**令和4年9月30日まで**（初回接種の終期と同じ）
- ②対象者：2回目接種完了者のうち**18歳以上**の者
- ③接種間隔：2回目接種完了から**原則8か月以上**（→その後、「優先度に応じ可能な限り前倒し」へと方針が追加）
- ④使用ワクチン：**初回接種（1, 2回目接種）の使用ワクチンに関わらずmRNAワクチンを使用**
当面は薬事承認されているファイザーのみ使用（モデルナは12月15日に薬事承認見込み）
- ⑤ワクチン供給：2回目接種から**8か月後に追加接種が行われることを前提に配分**
令和4年2月・3月の追加接種3,700万回分は**ファイザー・モデルナ併せて確保**
（※前倒し接種を実施する場合は国の在庫を活用）
- ⑥財源措置：**令和3年12月以降も引き続き従前同様の措置（全額国庫負担）を継続**

■ 参考 職域接種について

- ①接種期間：令和4年3月から開始予定
- ②対象企業等：1, 2回目接種を実施した企業・大学等のうち、実施を希望する企業・大学等
- ③使用ワクチン：モデルナ
- ④実施要件：1会場当たり1,000人以上の接種を行うことが原則。会場や医療従事者等は企業・大学等が自ら確保

5歳以上11歳以下への接種について

- 令和3年11月16日付厚労省通知（事務連絡）及び第9回自治体説明会により、早ければ令和4年2月から5歳以上11歳以下（以下「小児」という。）への接種開始となる可能性があることから、自治体において準備を進めるよう示された。
- 札幌市においても、今後、小児への接種開始に向けて準備を進めていく。

■ 小児接種について示された主な内容

- ①接種時期：**早ければ令和4年2月から**
- ②対象者・接種回数：5歳以上11歳以下を対象に**2回接種**
- ③使用ワクチン：**小児用ファイザー社製ワクチン**（12歳以上とは用量等が異なることから、別管理が必要）
※引き続き、国の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で議論